

新規事業採択時評価結果（平成17年度新規事業化箇所）

担当課：沖縄総合事務局地方計画室
 担当課長名：白金 義弘

事業名	ごやあわせせん 胡屋泡瀬線		事業区分	街路	事業主体	沖縄県
起終点	自：沖縄県 <small>おきなわしちゆうおう</small> 沖縄市中央 至：沖縄県 <small>おきなわしむらがわ</small> 沖縄市室川				延長	1.0km
事業概要	当路線は、沖縄環状線嘉手納基地ゲート付近から胡屋十字路を通り、国道329号高原交差点を結ぶ道路である。新規事業区間として中の町の市道中の町2号線～市道胡屋・照屋線までの区間L=1.0km（4車線）の道路整備を行う。					
事業の目的、必要性	本路線は沖縄県総合交通体系調査報告書の中では4車線の幹線道路として位置づけられており、国道330号、沖縄バイパス及び国道329号等の主要幹線道路と接続する重要度の高い道路となっており、中城湾港新港地区・東部海浜開発地区を支援する道路として早急に整備する必用がある。					
全体事業費	73億円			計画交通量	15,200台/日	
費用便益分析結果	B/C	総費用		総便益	基準年	
	1.73	74億円 （事業費：73億円 維持管理費：1億円）		111億円 （走行時間短縮便益：108億円 走行費用減少便益：2億円 交通事故減少便益：1億円）	平成17年	
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> ・都市の再生（中の町市街地再開発事業を支援する） ・他のプロジェクト（沖縄市都市マスタープランにおいても東西シボル交流ネットワーク軸として位置づけられている。また、事業中である沖縄市の市道胡屋18号線（市庁舎前線）と連携した整備である。） 					
関係する地方公共団体等の意見	中心市街地へのアクセス機能強化を図ることや中城湾港開発地区と市街地の物流・交通流の処理向上及び沖縄バイパスとの接続等、沖縄市の東西骨格軸を担う主要な幹線道路となり、また、中の町市街地再開発事業等周辺街区活性化の先導役を務める事業として、更に、中心市街地の活性化に資する道路として、早期整備促進の要請がある。					
事業概要図						

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。